

河川改修先進地の視察 研修を行いました

茶郷川治水協議会では、今後の茶郷川改修に向けて知識を深め、意識を高めるため、11月8日に参加者29名で市内の一級河川「表沢川」の視察研修を行いました。

市役所で、新潟県長岡地域振興局地域整備部小千谷維持管理事務所中林工務課長より、表沢川改修事業の概要について説明を受けた後、現地に移動し放水路などを視察しました。

表沢川は、東小千谷地区の市街地を流れる延長3,500mの一級河川ですが、流下能力が小さいため浸水被害が頻発していました。

新潟県では、現川の拡幅に加え新たに放水路を開削することで、下流の市街地を浸水被害から守る計画とし、平成13年に「河川整備計画」を策定しました。その後、平成16年、平成17年、さらに平成23年新潟・福島豪雨と立て続けに甚大な浸水被害が発生したことから、平成23年度より事業に着手していましたが、平成29年7月の梅雨前線豪雨では、下流域で河川の流下能力を大きく上回る洪水が発生し、家屋の浸水被害が広範囲に発生したことで、災害対策等緊急事業推進費約7億円の事業採択を受け、放水路の新設工事を早期に進め、平成31年3月には通水可能となりました。現在は、現川と山寺川との合流部やその上流部の現川改修を進めています。

新設の放水路は、現川の下流で農業用水などの利用があるため、普段は流れていませんが、堰により一定水量を超えると流れる仕組みになっており、洪水時には現川への水門を閉じることにより、全量を放水路に流すことができる仕組みになっています。

参加者からは、「実際に放水路を歩いてみて、洪水時には大変有効な施設だと感じた。」などの感想をいただきました。



県の担当者からの概要説明



対岸（栄町）より信濃川への放流口を見学



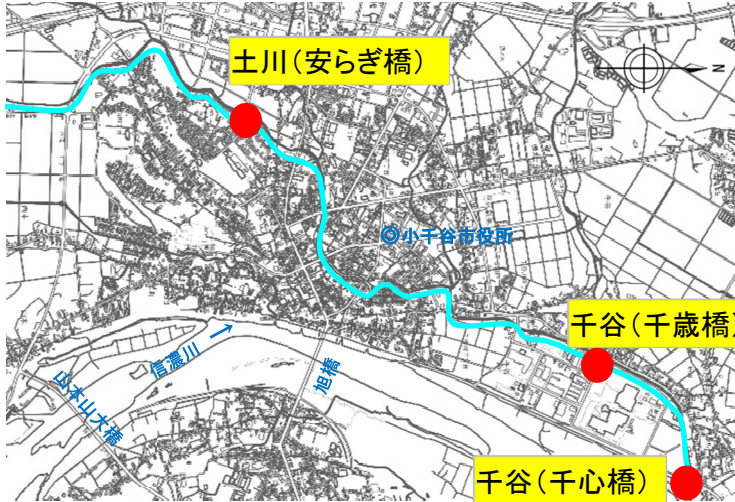
放水路全川を見学

危機管理型水位計が稼働しています！！

ぜひ身近な地域の防災・減災にお役立てください。

水害の危険性をいち早く知ることができるよう、洪水時の計測に機能を特化した低コストの「危機管理型水位計」が茶郷川に3箇所設置されています。

水位計で計測された水位は「新潟県土木情報システム」にて公開しています。



土川（安らぎ橋）



千谷（千心橋）



◎スマートフォンでの 閲覧手順を紹介します

河川水位・雨量のほか、気象注意報・警報や、土砂災害警戒情報も確認できます。

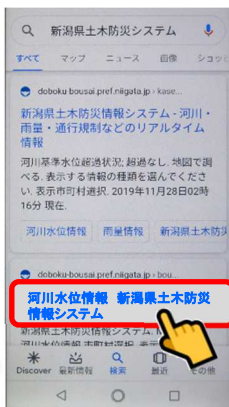
QRコードで検索の方はこちらから



① 検索サイトで **新潟県土木防災情報システム** と入力し

検索

② 検索結果の中から『**河川水位情報 新潟県土木防災情報システム**』を選択



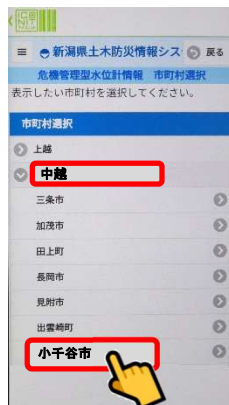
③ 河川の水位情報の市町村選択の画面が表示されますので、『**≡**』を選択



④ 『**危機管理型水位計**』を選択



⑤ 『**中越**』を選択後『**小千谷市**』を選択



⑥ 小千谷市の観測所が表示されます。



⑦ 水位の経過が表で確認できます。

時刻	水位	水位差分
11/28 13:00	---	---
11/28 12:00	---	---
11/28 11:00	---	---
11/28 10:00	---	---
11/28 09:00	→ 39.54m	---m
11/28 08:00	---	---
11/28 07:00	---	---

⑧ 水位がグラフで確認できます。



※ 水位が低いときは、3時、9時、15時、21時のみの表示となります。